



会津果樹情報ブドウ特別号

～積雪地域における管理について～



令和4年12月2日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 向こう3ヶ月の気象予報

向こう3か月（12月～2月）の降雪量は平年並みか、平年より多くなり、気温は、平年並みか平年より低くなる恐れがあります（気象庁 11/22 発表）。枝の折れやハウスの倒壊、凍害を防ぐためにも次の点に留意しましょう。

2 降雪前に行う管理

今すぐ実施!!!

(1) 積雪・防寒対策

～事前対策チェックリスト（対策済みの項目に、チェック☑を入れてご活用ください）～

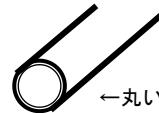
- ハウスに設置したビニールなどの被服資材を取り外した。
- パイプのさびを補修した。
- 番線の金具やジョイントを締め直した。
- 折れやすい苗木や若木、水平な枝を支柱などに結束し補強（図1）した。
- 防寒マットや稲わら等で主幹部を巻き、保温した。



図1 側枝の結束（補強）

徒長した枝、登熟の悪い枝は、凍害（図2）を受けやすくなります！。

充実した枝
（登熟の良い）



←丸い

生育不良、徒長枝
（登熟の悪い）



←扁平

図2

(2) 野そ、雪ウサギ対策

雪下で越冬する部分が野ネズミ害を受けやすくなります。主枝が食害されると、食害部位から先が発芽不良を起こしたり、ひどい場合は枯死します（図3）。以下の対策を行きましょう。

- ・すみかになる樹体付近のせん定枝を撤去する。
- ・被害が大きい場合は、幹を金網で覆う。

今すぐ実施!!!



図3 ウサギの食害により枯死した枝（シャインマスカット）

(3) 病害対策

巻きひげ（図4）やせん定枝、落葉は除去し、園外に持ち出しましょう。

なお、園地によっては雪解けの遅れにより薬剤防除が実施できていないようです。雪解け後、速やかに薬剤防除を実施しましょう。



図4 巻きひげ

雪が降ったら実施！

3 積雪後に行う管理

- ・枝が雪に埋没している場合は、雪の沈降が進まないうちに掘り出しましょう。なお、雪が固まってから掘り出す場合は、周囲に切り込みを入れて溝をつくり (図5)、沈降力を軽減してから行うのがポイントです。
- ・樹体や果樹棚への着雪が多い場合は、速やかに雪下ろしを行いましょ



図5 樹の周囲に切れ込みを入れ、積雪による荷重を分散させます。

4 融雪後（3月以降）に行う管理

春先に実施。

(1) ブドウトラカミキリ (図6, 図7) 対策

粗せん定や春先の殺虫剤散布を行い、防除を徹底しましょう。



図6 ブドウトラカミキリ

幼虫が枝の表皮下を食害して越冬します。



図7 被害枝

結果母枝の節が黒ずみ、ヤニが吹きます。

春(秋)に実施。

(2) 野そ対策 (殺そ剤の実施)

殺そ剤 (表1) は年1回では効果が不十分となるので、春と秋 (ネズミの繁殖期) の年2回実施する。

そ穴とは、1.5cm～3cm 程度のネズミの巣の入り口のことです。

表1 主な殺そ剤

使用薬剤名	使用量	使用方法
ラテミンリン化亜鉛 1%	300～600g/ha	1～2 g (10～20 粒) をそのまま、或いは小袋詰をそ穴に投入する。
メリーネコりん化亜鉛	1カ所あたり1～5g	そ穴1カ所あたり1～5 gをそのまま又は紙袋として投入する。
Z・P 1.00	50～200g/10a	3～5 g 紙包み又はそのままそ穴に投入するか、10aあたり10～40カ所に適宜配置する。

5 園芸施設共済への加入

園芸施設共済は、農業用ハウスのための保険です。雪害といった被災時のハウスの再建を手厚くサポートします！加入のご相談は近くの農業共済組合 (NOSAI) へお問合せください。



- 毎日寒い日が続きます。体調管理 (手洗いうがい、防寒) を徹底しましょう。

